

令和4年9月

公益財団法人 日本消防協会
消防団員確保対策推進本部
本部長 会長 秋本 敏文

消防団等 PR の充実につきまして

国民の皆様の安全をより確実なものとすることを究極の目標としながら、消防団員の減少傾向を食い止め増員確保を実現することをめざし、日本消防協会として意見を申し述べましたが、その意見とりまとめの過程で、全国の消防団から、消防団の活動の実態、その重要性、さらに消防団そのものの存在意義等を国民の皆様にもっと PR して欲しいという強いご意見がございました。そのような経過のもと、当協会の意見においては、消防団等の PR を一層進めて頂きますようお願い申しあげたところです。

ただ、消防団等の PR と申ししましても、PR する事柄は、消防団の日常の活動だけでなく、非常時の活動、あるいは常備消防との連携や地域防災体制づくりなど広範にわたりますし、PR の内容をお届け

けしたい対象の方々は、中高年の方や青少年、企業経営者や被雇用者、医療福祉関係の方々など幅広いの方々です。また、PR の手法も多くのの方々を対象とするマスコミ的手法やおひとりおひとりへの情報提供タイプなどいろいろあり得ます。

つきましては、現在も消防庁をはじめとするいろいろな団体等で実施している消防団等の PR の実態を整理して頂き、これを踏まえて、現在実施して頂いている個々の PR の特徴を活かしながら、総合的な、効果的な PR として一部再検討してみてはどうかというような点、あるいは、新たな取り組みを試みてはどうかというようなことについて検討して頂くことはいかがでしょうか。また、具体的な検討の過程では、PR 活動全体についての有識者のご参加を頂くということもあり得るのではないかと考えられます。

消防団員の確保は、単に消防団にとっての問題にとどまるのではなく、我が国の消防防災体制全般のあり方に通じるものですし、また、国民の皆様の安全な、幸せな生活確保にも深く関わりと考えられます。どうぞ、そのような観点のもと、ご検討方よろしく願いいたします。